

令和2年度

事業計画書

社会福祉法人 清琉会

令和2年度 事業計画書

目 次

はじめに		1
重点目標		
1 本部事務局		2
本部管理室		
地域貢献室		
2 玉川グリーンホーム		3
I：総務部	総務課	
	栄養課	
	医務課	
II：介護事業部		4
	施設介護課	
	施設相談係	
	本館特養係	5
	ユニット特養1係	
	ユニット特養2係	
	新館特養係	6
	ショートステイ係	
	在宅介護課	
	居宅介護支援係	7
	通所介護係	
月別事業計画書		8
3 高松山グリーンホーム		10
4 愛甲グリーンホーム		12
5 小町山グリーンホーム		14
6 厚木市玉川・森の里地域包括支援センター		16
7 委員会活動		17
8 研修計画		18

令和 2 年度事業計画

社会福祉法人 清琉会

はじめに

平成から令和へと元号が替わった前年度は、当法人にとっても法人創立 30 周年など節目となる一年でありました。30 年の月日が紡いできたものは計り知れない重みがあると思っており、本当に多くの方に支えて頂き、そして多くの職員の皆さんの献身的な努力により今日を迎えることが出来ました。

それだけ多くの方々にご協力頂ける法人施設であることが、私たちの喜びであり誇りでもあります。そこに至る土台は、協力して頂ける関係はどの様に醸成することが出来たのか振り返って考えました。創立者を中心に先達たちが築いて下さった地域の皆様との絆はもとより、行政など関係機関との連携。また時には協力し、時には競い合い、共に福祉としての在り方を磨いてきた同じ社会福祉法人の同志の方々。それぞれの皆様との繋がりや、一朝一夕に出来るものではなく、お互いの信頼を築くために、多くの時間顔と顔を突き合わせ、正面から向かい合わせて頂いた結果と思います。ITなどが全盛の今の時代には、愚直とも思われるような行動かもしれませんが、やはり福祉の根幹が人と人の関わりである以上、こういった行動や精神は、これからも私たちが引き継いで行かなければならないと考えております。

30 年の時の流れの中では、外部を取り巻く環境は大きく変化しましたが、お年寄りや地域の皆様に「うるおいとやすらぎ」をと願った、清琉会玉川グリーンホーム創設に込められた想いを決して忘れること無く胸に刻みながら、新しい時代に対応出来る法人施設として進化を目指さなければなりません。

世界でも類を見ない我が国の少子高齢化の進行は、財政的な面の厳しさも加速させ次の介護報酬改定に向け予断を許しません。そのような時期だからこそ、改めて関係法令を正しく理解すること、その上で法人としてどの様に取り組んで行くかなどを、職員全体で共有出来るよう努め、ご利用者やご家族、地域の皆さまから必要とされる存在であることを目指し、その為の方向性を明確にする一年として取り組んで参ります。

重点目標

1. 目指すモノ・コトを明確に
法人理念、ビジョン、各サービスの取組みを明確にし、それらに基づいて各方面に対する説明責任を果たします
2. 存在し続けるための経営改革
費用対効果、必要繰越利益（資金）について全職員の意識を高めます
3. 手法としての効率化
各分野それぞれの目的を達成するための手法について効率化を図ります
4. 品格の向上
言葉遣い、立ち居振る舞い 厳しい視点で改善・維持に取り組めます

1 本部事務局

本部管理室

○組織強化 ～『関係の質』の向上から～

法人理念を再確認。目的・目標・手段の区分を明確にし、一人ひとりの職員が業務に取り組みやすい環境を創出します。

目的を明確にし各業務について、PDCAサイクルを細分化しながらあてはめ、効率的に行動できる環境の構築に取り組みます。

○児童・保育室「ゆめっこ」の活用

福利厚生である児童・保育室をよりPRして、新たな人材の確保に繋がります。

育児・子育てを支援し、職員の継続就労に繋がると共に、高齢者の皆さんなどとの世代間交流にも積極的に取り組みます。

○人材育成のために ～品格の向上～

心掛けにより自身の行動がどの様に変化するか、育成面談などを活用しながら、成果とプロセス（過程）の双方を重視した取り組みを図ります。

「心が変われば態度が変わり、態度が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わり、人格が変われば人生が変わる。」（アミエルの日記より）

※ 法人理事会等開催予定

監事監査 令和2年5月中旬

第1回理事会 令和2年5月下旬

定時評議員会 令和2年6月中旬

第2回理事会 令和3年3月中旬

*理事会、評議員会は必要に応じ
随時開催を図る。

地域貢献室

○地域貢献事業の検討、実施

「玉川・森の里見守り支え合い会議」の活動に協力、また求められる貢献事業について助言を頂き、出来る事から取り組みます。

地域の方が参加しやすい活動を主催。諸行事の開催や環境美化活動など、協働の場を創出することで、地域の繋がり強化の足掛かりとなります。

○かながわライフサポート事業の取り組み

様々な課題に向き合いながら、「個人の課題」を「家族の課題」や「社会の課題」として捉え、迅速な対応が図られるよう、関係機関との連携強化、普段からの情報共有を図ります。

○法人施設の有効活用をはかる

小町山グリーンホームの地域交流スペースや交流広場をはじめ、法人の持つ設備や機能を活かした取り組みを検討。『交流あってこそその「互助」』を念頭に、様々な方の社会参加、社会的役割を意識して頂ける活動に取り組みます。

2 玉川グリーンホーム

I：総務部

総務課

○品格の向上を意識した接客

法人・施設の窓口を担当する者として、常に礼節・言葉遣い・立居振る舞いには留意をして、信頼を損ねるようなことの無いように接客業務に取り組みます。また、厳しい視点で改善・維持に取り組みます。

○ハード、ソフト面での職場環境の整備

経年劣化による施設・設備・車両等の不具合を早期に発見し、業務に支障が出ないように修繕等の対応を行います。また、組織力を高める為にも職員の定着率の向上が求められるため、職員の健康管理に留意し、働きやすい職場環境の整備にも努めます。

○経営改革の為の経費削減

安定的収入増が厳しくなっている外部環境を鑑み、必要な経費は確保しつつ、コスト意識の徹底を図り費用対効果の検討も行き、削減可能な経費については実施出来るように努めます。

栄養課

○安全管理、食中毒、感染症対策の徹底

調理中の事故を防ぎ、スタンダードプリコーションを守り安心安全な食事作りを行います。また自分自身の健康管理をしっかり行います

○入所者、ご利用者への適切な食事提供

多職種協働による栄養カンファレンスを行い個人々々に合わせた食事の提供を行います。また喜んでいただけるイベントや行事食を行います。

○地域貢献

地域の方々にもニーズに合ったおいしく安全な食事（お弁当等）を提供致します。

○ムダをなくす

食数管理をしっかり行い、材料等をその日の食数に合わせ、ムダに使用しない様にします。

○品格の向上

法人の職員として社会人として、入所者ご利用者、職員（仲間）に対して礼節、言葉遣い、立ち振る舞いを常に意識します。また職場の中では輪を乱すことなく自分本位だけではなく互いの立場を理解し働きやすい環境作りを心掛けます。

医務課

○法人内部での関係強化

ご利用者の高齢化・重度化が顕著な中、医療的依存度が一層高まる事を認識し、

早期対応・早期治療を目標に、介護・栄養など多職種との連携を強化。日頃からのコミュニケーションと情報共有を図ります。

○介護現場における判断支援への取り組み

生活の場である介護施設においてケアの手法などを判断する際に、専門的見地から判断材料を提供するなどの支援を行い、個々の職員の成長にも繋げるよう取り組みます。

○終末期医療への対応

今後増加が見込まれる終末期から看取りへの対応について、法人施設としてのあり方を検討。対応する職員一人ひとりが、不安なく職務に当たることが出来るよう知識の習得、対応時に支援する仕組みを作ります。

II：介護事業部

○その人なりに「納得できる生活」の再構築を図ります。

法人理念を理解しつつ、ご利用者ひとり一人が「納得できる日々」を過ごせるように、そして、親密な関係が生まれるように職員ひとり一人が働きかけます。

○確かな介護福祉を実践します。

権利擁護、身体拘束ゼロ、褥瘡ゼロ、骨折ゼロを目標とし、認知症ケアを向上します。

その為にもケアマネジメント、介護過程を展開します。日々の介護福祉実践を振り返りつつ、法人内外研修会や認知症介護実践者研修等に積極的に参加し、得たものを職員間で共有し介護福祉実践につなげ、それを奨励します。

施設介護課（介護老人福祉施設、短期入所生活介護）

○継続する力を身に付ける

法人での決定事項、各部署での決定事項を継続することで自身の自信に繋げ、目標達成に向け試行錯誤することで問題解決能力が身に付き、利用者、ご家族から信用される人材育成に努めます。

○利用者個々のその時、その瞬間、1秒、1分、1時間、1日を大切にする

利用者それぞれのその時、その瞬間に丁寧に向き合うことで、1秒、1分、1時間、1日が充実した時間となり、その延長線上にある看取り介護へ繋がられるよう日々の介護、援助に努めます。

【施設相談係】

○ご利用者にご家族に安心していただける生活を提供する

ご利用者の安心・安全は基より、ご入所者のご家族の要望や不安に寄り添い、より満足度の高い生活が送れるよう、各セクションと情報共有し、相談しやすい環境を整え、援助致します。また、入所希望の方には的確な情報提供及び状況確認を行い、安心してご入所頂けるよう尽力し、選ばれる施設となれるよう努めます。

○入退所指針に則り、適切な入退所を行う

入所希望ご家族へ適切な説明を行い、神奈川県特別養護老人ホーム入退所指針に則った入退所を適切に実施し、退所発生から次の方の入所までの期間短縮に努めます。また、高松山グリーンホーム・愛甲グリーンホーム・小町山グリーンホーム入居者については、日頃から情報共有し、より適切な環境が提供できるよう検討していきます。

○入院日数を年間延べ1500人以下(稼働率98%)とする

ご利用者が重度化している現状はあるが、医務課と連携を図り入所者の体調管理を行い、早期発見早期治療を心掛けます。入院に至った場合は医療機関と連携を図り、迅速な対応を行い、退院時は、早期に対応できるよう、医務課・医療機関と連携協力します。ショートステイによる空きベッドの活用や、退所者発生の場合以降の流れを厳格化することで早期調整を行い、稼働率の向上を図ります。

【本館特養係】

○ICTの充実、効率化

コメントケア、カードックスを中心とした申し送りシステムの構築を行います。情報共有をチーム全体のケアの向上・統一したケアの実施に努めます。

○日々の生活に+1(プラス1)

ご利用者の質の向上の為に、レクリエーション等の年間計画を作成し現在の日常生活に彩りを加え、より充実した施設生活を送っていただけるよう支援します。

【ユニット特養1係】

○職員同士のチームワークを高め、業務を円滑に遂行する

介護職である前に「人」として職場での在り方を意識し、挨拶を始め気持ちのよい関係作りを心掛ける。時にはお互いに注意する事も必要であり、常に自分と相手は違うことを前提に建設的な関係作りを構築していくことを心に持ち続け、コミュニケーションを高めて業務を円滑に遂行していきます。

○介護職としての「質」の向上を図り、ご利用者一人一人へ向けたケアをより良いものにする

介護職としての専門性を高め成長していく気持ちを一人一人が持ち、職員間での指導や、研修会、セクション会議等の機会知識・技術を高めていき、関係職種との連携の向上も含め、ご利用者一人一人に対してケアの「質」をより良いものにしていきます。

【ユニット特養2係】

○チームケア強化によりご利用者の健康維持に努めます

職員間の情報共有、連携強化、コメントケアを活用、職員各自が主体となり、ご利用者の健康管理、衛生管理、環境整備を行い、健康維持に努め、入院日数の減少を図ります。

○ご利用者が自律的な日常生活を営める様に支援します。

ご利用者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営んで頂けるように職員各自が主体となり安心、安楽、親身な個別ケアをチーム一丸となり提供します。

【新館特養係】

○介護過程の展開

- ・ ICFを活用して、情報整理シートを前期に全員分作成。
- ・ ケアプランを意識し、後期には情報整理シートを活用し、ケアカンファレンスを実施する。
- ・ 新規入所時や退院時などの大きな状態変化があった時は、速やかに情報整理シートを見直し、ケアカンファレンスを実施する。
- ・ PDCAサイクルを繰り返し、改善を図り続ける。

○利用者本位の姿勢を忘れずに、丁寧なサービスを提供

利用者から声を掛けられた際には、一度、行っていることを止め相手の話を聞く姿勢を必ず作る。また、気持ちのいい挨拶や返答が出来るように表情や声のトーンを意識する。その際、利用者の立場に立って、意思や要望を考え、相手の気持ちを理解した介護を行う。

【ショートステイ係】

○ご利用者・ご家族との信頼関係の構築

全ての事柄に対し丁寧に前向きに取り組み、言葉遣いや立ち振る舞いに気を配り、質の高いサービスを提供します。ご利用者、ご家族と信頼関係を深めます。

○その人らしさを大切に

ご利用者一人一人の心理状態、行動の理解、認知症周辺症状の理解し、その方に気持ちに寄り添った支援を実践します。支援方法について、ご家族や他職種と情報、支援内容について共有し統一した支援を提供します。自宅に戻っても今まで通りの生活ができるよう残存機能を活用した支援を実践し身体機能、筋力維持に努めます。

○思いやりの心を大切に

職員間でお互いの想いを理解し合い、困っている時は手を差し伸べ、一つの課題解決に向けてチームとして取り組みます。常に、誰に対しても思いやりの気持ちを忘れず、どんな時も協力し合い、明るく笑顔のある職場作りに努めます。

○施設設備の効果的活用

ショートステイのベッド定員（16床）の稼働率90%以上を目指します。

居宅介護支援事業所との連携を密に行うと共に、新規ご利用者の確立・ご利用者の定着率の向上に努めます。また空床ベッドを効率良く活用する為に入所相談員、看護師等と情報共有しスムーズな利用につなげます。

在宅介護課

○ケアプラン・サービス計画書の充実

ケアプラン・サービス計画書を基にした支援が行えているかの評価方法を確立し、計画に沿っていない部分や改善点を明確にすることにより、一人ひとりにあったケアプラン・サービス計画書の作成、サービスの実践を目指します。

○地域包括ケア社会の実現に向けた連携強化

住み慣れた地域での生活を支えられるよう、各セクションが連携することはも

ちろん、ご利用者の医療的アプローチの重要性を踏まえ、ICTの活用を推し、更なる医療職種との連携強化を図り、複合した支援の充実を目指します。

【居宅介護支援係（ケアマネジャー）】

○ご利用者の思いに沿ったケアの実施

ご利用者の能力や病状、生活歴の他、生活環境や活用できる資源も踏まえた中でご利用者の幸せに繋がるケアプラン作成を目指します。また、そのプランの根拠や目標を明確にしてチームでの支援が出来るように努めます。

○専門性を持った信頼されるケアマネジャーを目指す

福祉を取り巻く環境やケアマネジャーとして求められる能力が大きく変化している現状を踏まえ、研修参加や事例研究等の自己研鑽に努め専門性の高いケアマネジメントの実施を目指します。

【通所介護係（デイサービス）】

○ケアの質、認知症ケアの質の向上

ご利用者、ご家族一人ひとりに満足していただけるよう、チームケアを確立していきます。また、個々のアセスメントを通して認知症ケアの充実を図り、誰もが仲良く安心して、ご利用できる環境を目指します。

○専門職としての意識向上

サービス業として法人内の模範となるよう、マナー接遇を根本的に見直し、品格の向上に努めます。

毎日チームの目標を掲げ、ご利用者が安心して居心地よく笑顔で過ごせる場所を目指し、職員が不安なく支援にあたるように介護技術を向上させ安心して働くことのできるチームにします。

○効率的な事業運営

ご利用者同士のコミュニケーションの場としての機能を図り、地域との連携・接点を持つことで安心して過ごせるデイサービスを目指します。

クラブ活動などの効果・経費の見直しを行い、地域やご利用者のニーズに応じたサービスと提供いたします。

玉川グリーンホーム 令和2年度月別事業計画書

月別	施設内行事	施設外行事	その他
4月	入所者自治会総会 お花見	花まつり 小野神社例大祭	ボランティア連絡協 議会総会
5月	端午の節句 母の日(母を語る会) 藤見の会 レクリエーション大会	森の里鯉のぼり見学	防災訓練 職員定期健康診断 監事監査、理事会
6月	父の日(父を語る会) 七夕飾り制作 職員全体研修	あやめの里散策	定時評議員会 嗜好調査と栄養指導
7月	七夕祭り バイキング 納涼盆踊り大会	J A 玉川支所納涼祭	防災訓練
8月			
9月	夜間防災訓練 敬老祝賀会		総合防災訓練 機関紙発行
10月	十五夜 十三夜 清琉文化祭	市内デイサービスセン ター風船バレー大会 玉川地区大運動会	共同募金 あつぎ鮎まつり
11月	バイキング インフルエンザ予防接種	J A ふれあいまつり あつぎ七沢森のまつり 森の里公民館まつり	火災予防運動 防災訓練 職員定期健康診断 感染症対策強化月間 (～2021.3月まで)
12月	ボランティア感謝デイ 冬至 (ユズ湯、かぼちゃ料理)		歳末助け合い運動

月別	施設内行事	施設外行事	その他
12月	クリスマス会 大晦日（年越しソバ）		
1月	祝い膳 七草粥 どんど焼き	小野神社参拝 あつぎ駅伝応援	法人新春の集い
2月	節分・豆まき		
3月	ひな祭り お彼岸	玉川公民館祭り	理事会 火災予防運動 機関誌発行

毎月行う行事

誕生会	第3水曜
ショッピング	第1、2、3火曜(施設内)、第4水曜(施設外)
ケアカンファレンス	毎週水曜
精神衛生	第2、4木曜
嘱託医往診	
歯科医往診	
産業医来所	毎月第1水曜

3 高松山グリーンホーム 認知症対応型共同生活介護

○安全・安心な環境作りと日常生活の充実

家庭的で落ち着いた雰囲気の中で日常生活を穏やかに過ごせるように入居者・ご家族とのコミュニケーションを大切にし、健康で安全に安心して暮らして頂けるように努めます。また、四季に応じたイベントの開催や地域行事へ積極的に参加し、日常生活の充実を図ります。

○責任性と品格の向上

社会人・専門職として必要な礼節、言葉遣い、立ち居振る舞いに気を配り、お互いを尊重し、相手の気持ちを理解し合える関係作りに努めます。自らの行動に責任を持ち最後まで丁寧にやり遂げ、記録や情報の共有・説明がきちんとでき信頼される職員を目指します。

○認知症の理解と専門性の向上

認知症に関する施設内外の研修に積極的に参加し知識や技術の理解を深め、入居者本位を念頭にプライドを傷つけないよう相手の意思を受け止め、寄り添い、常にやさしい気持ちで入居者に接することが出来る職員となるよう努めます。

○地域社会との連携・認知の獲得

地域包括ケア社会の目的を理解し、地域に根差した施設として地元地域と積極的に係わりを持ち、地域住民と協力出来るよう交流を図りながら多くの方に施設と関わって頂くよう努めます。

高松山グリーンホーム 令和2年度月別事業計画書

月別	施設内行事	施設外行事	その他
4月	お花見 セリ摘み 春のお楽しみ会	小野神社例大祭 愛名ミニデイ	消防設備点検 運営推進会議
5月	端午の節句（菖蒲湯） 母の日（母を語る会） 保育園児との交流	森の里鯉のぼり見学 レクリエーション大会	エレベータ点検 職員定期健康診断 監事監査・理事会
6月	父の日（父を語る会）	愛名ミニデイ あやめの里散策	定時評議員会 電気設備点検 運営推進会議 害虫駆除
7月	七夕（飾り付け） 保育園児との交流	愛名納涼盆踊り大会 清流会納涼盆踊り大会	防災訓練 定期清掃ワックスがけ

月別	施設内行事	施設外行事	その他
8月	お盆（おはぎ作り）	愛名諏訪神社例大祭	エレベータ点検 運営推進会議
9月	敬老お楽しみ会 保育園児との交流	愛名敬老会	夜間防災訓練
10月	十五夜（お団子作り） 十三夜 秋のお楽しみ会	清琉文化祭	消防設備点検 運営推進会議 あつぎ鮎まつり
11月	インフルエンザ予防接種 保育園児との交流	保育園コスモス運動会 愛名ふれあい祭り	エレベータ点検 職員定期健康診断 定期清掃ワックスがけ 感染症対策強化月間 （～2021.3月まで）
12月	冬至（柚子湯） クリスマス会 大掃除 大晦日（年越しソバ）	年末美化清掃 愛名ミニデイ（クリスマス会）	害虫駆除 運営推進会議
1月	祝い膳 初詣 七草粥	どんど焼き あつぎ駅伝応援	法人新春の集い
2月	節分・豆まき	愛名ミニデイ	防災訓練 エレベータ点検 運営推進会議
3月	ひなまつり（桜餅作り） お彼岸（ぼた餅作り）		定期清掃ワックスがけ 理事会

毎月行う行事

臨床絵画

4 愛甲グリーンホーム 認知症対応型共同生活介護

○家庭的な雰囲気を選ばれる施設を目指します

四季に応じたイベントの開催や地域行事へ積極的に参加します。一人ひとりがその人らしく安心して暮らしていけるよう、専門職・スタッフがお手伝いさせていただきます、選ばれる施設を目指します。

○パーソン・センタード・ケアとユマニチュードの実践

入居者の視点や立場に立って理解しながら、「見る」「話す」「触れる」「立つ」を同時に実践し、入居者に好感を抱き、人間として尊重していることを伝えながらケアを行います。

○品格の向上

言葉遣い、立ち振る舞いを徹底し、自身の本質（中身）を向上します。

品格がある人を常に観察して、取り入れ、チーム全体で向上を目指します。

○説明責任の重要性

正しい業務を行い、自分の行動にも責任を持ちます。記録、他連絡事項の情報発信、情報共有を徹底し、どんな状況時にもきちんと説明できることを目指します。

愛甲グリーンホーム 令和2年度月別事業計画書（案）

月別	施設内行事	施設外行事	その他
4月	ワックス清掃	花まつり 小野神社例大祭 つつじの丘公園散策	
5月	端午の節句 母の日(母を語る会)	森の里鯉のぼり見学 レクリエーション大会	職員定期健康診断 運営推進会議 監事監査・理事会
6月	父の日(父を語る会)	外出レク	定時評議員会 害虫駆除
7月	七夕まつり おやつレク	清琉会納涼盆踊り大会	運営推進会議
8月	涼菓子レク		
9月	ワックス清掃 敬老会	外出レク	運営推進会議 防災訓練

月別	施設内行事	施設外行事	その他
10月	十五夜 十三夜 ハロウィンイベント	清琉文化祭 厚南幼稚園運動会	
11月	インフルエンザ予防接種	紅葉狩り 愛甲公民館祭り	職員定期健康診断 運営推進会議 感染症対策強化月間 (～2021.3月まで)
12月	冬至(柚子湯) ワックス清掃 クリスマス会 大晦日(年越しソバ)	美化清掃 厚南幼稚園交流会	害虫駆除 ボランティア感謝デイ
1月	新年会(祝い膳) 書初め 七草粥 鏡開き	どんど焼き 初詣 あつぎ駅伝応援	法人新春の集い 運営推進会議
2月	節分祭 バレンタインイベント		
3月	ひな祭り		防災訓練 運営推進会議 理事会

毎月行う行事

音楽療法・民謡クラブ
ショッピング
誕生会
体重測定

5 小町山グリーンホーム

サービス付き高齢者向け住宅（介護予防）特定施設入居者生活介護）

- 安心した生活に向けた介護の提供と個人を中心としたケアの提供
常に親切で丁寧な対応を心がけ、相手が今、「どのような想いでいるのか」を知り、「どのような支援を望んでいるのか」を考えて行動します。
- 入居率 95%・ベッド稼働率 90%の目標達成ができるように、円滑な入退所支援
長期入院者に対する入所継続の見極めを行い、入居者に適した生活環境の相談・提案を行うと共に、入退所検討委員会を中心に法人事業所と連携を行うことにより目標達成に努めます。
- 安全管理、食中毒・感染予防
調理中の事故防止、食品の取り扱い、衛生管理に気を付けながら、基本的な事を忘れずに日々再確認しながら食中毒・感染予防に努め、より安全な食事提供をしつつ、感染予防に必要な情報、知識を学び職員に周知して行きます。

小町山グリーンホーム 令和2年度月別事業計画書

月別	施設内行事	施設外行事	その他
4月	お花見	お花見ドライブ 龍鳳寺花祭り 小野神社例大祭	しあわせクラブ総会
5月	鯉のぼり飾り 母の日(母を語る会)	森の里鯉のぼり祭り レクリエーション大会	職員定期健康診断 監事監査・理事会
6月	父の日(父を語る会) らっきょう漬け じゃがいも掘り	あやめの里散策	定時評議員会
7月	七夕飾り 流しそうめん	上古沢花巡り 清琉会納涼盆踊り大会	小野地区大納涼祭
8月	アイスイベント	森の里夏祭り	
9月	敬老会 防災訓練	梨狩り	夜間防災訓練 小野しあわせクラブ 敬老のつどい

月別	施設内行事	施設外行事	その他
10月	インフルエンザ予防接種 消防機関合同防災訓練	清琉文化祭 ミニデイ 玉川地区大運動会 小野小町まつり	
11月		JA ふれあいまつり あつぎ七沢森のまつり 森の里公民館まつり	職員定期健康診断 感染症対策強化月間 (～2021.3月まで)
12月	クリスマスイルミネーション飾り 大晦日 (年越しソバ)		歳末助け合い運動
1月	新年会 (祝い膳) 七草粥 団子作り どんど焼き	小野神社初詣 あつぎ駅伝応援	法人新春の集い
2月	節分・豆まき		しあわせクラブ新春の集い
3月	ひな飾り 運営懇談会	玉川公民館まつり 合同ミニデイ	理事会

毎月行う行事

スーパー三和へショッピング：毎週月、水、金

グランドゴルフ：毎週金曜日 午後

お茶会：毎月 第一火曜日

農作業・園芸作業：毎月

6 厚木市玉川・森の里地域包括支援センター

○サービス向上を目指した相談業務における質の向上

地域包括支援センターは「地域における介護相談の最初の窓口」と認識し、相談者に寄り添った対応を行います。①礼節を重んじた対応、②迅速で親身な対応、③職員間の信頼関係・連携強化、④関連多職種との連携強化に努めます。

○地域包括ケア社会推進に向けて『玉川・森の里見守り支え合い会議』運営

「誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで」の仕組みづくりに向けて、地域ニーズ抽出から地域特性を活かした助け合い活動の創出拡大を目指します。法人地域貢献事業とも連携し地域と協働しての展開等を検討します。

○「元氣いきいきネット推進事業」等の開催

介護予防活動の人材育成を念頭に、「元氣いきいきネット推進事業」等講座を、地域交流スペースや公民館を活用して開催します。また、地域の方も気軽に参加できるような交流・外出・集いの場の開催・支援を目指します。

○相談内容の分析・傾向から地域の特性・将来的ニーズを探る

地域の現状や課題、将来的なニーズを探る参考とするために、相談の内容を細かく分類し分析を行います。今後の地域支援事業の参考となるように『玉川・森の里見守り支え合い会議』等で結果の報告を行い今後の事業展開に活かします。

7 委員会活動 ※重点的取り組み

各委員会の設置は、発生する課題について法人全体で取り組み、法人としての統一的な対応を図ると共に、職員相互の交流を図ることを目的とする。

開催にあたっては、web 会議の導入など効率化も視野に入れて取り組む。

I：育成委員会（キャリアパス）

- 1 社会人・法人職員・専門職それぞれの立場に対する育成計画の企画、実施
- 2 O J T、メンター制に基づく育成システムの検討

II：介護技術向上委員会（認知症ケア）

- 1 利用者にとって安楽、介護者にとって負担の少ない介護技術の研究
- 2 資格取得に向けた、実技能力の向上 国家資格試験等対策指導

III：サービス向上委員会（苦情相談）

- 1 苦情相談の受付並びに適切な対応
- 2 利用者満足度調査の企画、実施

IV：拘束・事故防止検討委員会（身体拘束廃止、虐待防止の取り組み）

- 1 身体的拘束等適正化委員会並びに関連研修会等の主管
- 2 身体拘束並びに虐待に対する正しい知識の習得と防止に向けた意識の向上
- 3 ヒヤリハットの統計、分析

V：ICT推進委員会（情報公開）

- 1 社会福祉法人の経営公開への対応 適切な情報発信並びにその検証
- 2 適切な情報共有を目的にしたICTの推進

VI：環境衛生委員会（感染症防止）

- 1 感染症の発生予防、拡大防止対策の検討
スタンダードプリコーション(標準予防策)を徹底する仕組みづくり
- 2 労働安全衛生法に基づく「衛生委員会」としての機能

VII：防災対策委員会（災害対策、BCP策定）

- 1 防災訓練、一斉器具点検の企画実施
- 2 災害時マニュアル、高齢者以外も対象とした防災備蓄品の見直し

8 研修計画

前述の委員会における重点的取組の研修を開催、研修内容は委員会にて検討。

職員が講師または事例発表者となる機会をつくり、本人の内容の整理確認など理解も深めることを目的とします。

	月例研修内容案	担当（委員会）	他、研修事項
4月			
5月		防災対策委員会	新採用職員研修
6月			管理者研修
7月	虐待防止について	拘束・事故防止検討委員会	神奈川県研究会議
8月		介護技術向上委員会	
9月			新採用職員研修
10月	感染症予防について	環境衛生委員会	全国研究会議
11月			
12月	拘束廃止について	拘束・事故防止検討委員会	新採用職員研修
1月		I C T推進委員会	
2月		サービス向上委員会	管理者研修
3月			新採用職員研修

※外部研修の実施などを考慮し、開催時期の調整を行う。

※各部門等における会議時に、各種研修を同時開催する。

その他研修に関する取り組み

- ・ 関係機関の実施する外部研修への参加
（特に認知症介護実践者、リーダー、管理者、指導者研修を重点に）
- ・ 職員の申し出による関連研修への参加
- ・ 国家資格等受験者に対するフォロー

社会福祉法人清流会 令和2年度年間スケジュール

日付	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	水	金 メーデー	月	水	土	火 夜間防災訓練	木	日	火	金 祝い膳	月	月
2	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火
3	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水
4	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
5	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金
6	月	水	土	月	木	日	火	金	日 ボランティア感謝デー	水	土	土
7	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日
8	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月
9	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火
10	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水
11	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
12	日	火	金 定時評議員会	日	水	土	月	木	土	火	金	金
13	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土
14	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日
15	水	金 監事監査	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月
16	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火
17	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水
18	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木
19	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金
20	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土
21	火	木	日	火 納涼盆踊り大会	金	月	水 全国経営協 経営者大会	土	月	木	日	日
22	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月
23	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火
24	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水
25	土	月 理事会	木	土	火	金	日	水 全国老人福祉 施設研究会議	金	月	木	木
26	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金
27	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土
28	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日
29	水	金	月	水	土	火 全国老人 福祉施設大会	木	日	火	金		月
30	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土		火
31		日		金	月		土		木	日		水
	高松山 運営推進会議	愛甲運営推進会議	高松山 運営推進会議	防災訓練 愛甲 運営推進会議	高松山 運営推進会議	愛甲 運営推進会議	清流文化祭 共同募金 高松山 運営推進会議	愛甲 運営推進会議	高松山 運営推進会議	愛甲 運営推進会議	高松山 運営推進会議	理事会 愛甲 運営推進会議 小町山運営懇談会